

第7回癌治療増感研究シンポジウム

癌化学療法の新たな治療戦略

—癌治療薬による新規併用療法の開発を目指して—

会 期：平成17年2月11日(金・祝) 13:00～12日(土) 15:00
開催地：奈良市ならまちセンター

(〒630-8362 奈良県奈良市東寺林町38 Tel: 0742-27-1151)

世話人：吉川 敏一（京都府医大）

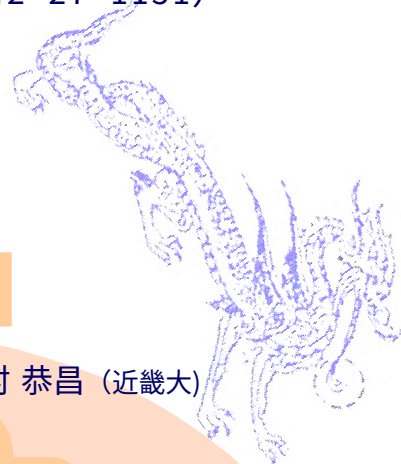
大会長：大西 武雄（奈良医大）

〒634-8521 奈良県橿原市四条町840

奈良県立医科大学生物化学教室

Tel: 0744-29-8812 Fax: 0744-25-3345

E-mail: seibutsu@naramed-u.ac.jp



平成17年2月11日(金・祝)

シンポジウム1 癌化学療法の新たな治療戦略 座長：西村 恭昌（近畿大）

メトロニック化学療法 鬼塚 伸也（国立長崎医療センター）

抗癌剤と血管新生阻害剤の併用効果 大谷 吉秀（慶応大）

進行肝細胞癌に対するIFN α 併用化学療法 永野 浩昭（大阪大）

シンポジウム2 癌化学療法と放射線療法 座長：平岡 真寛（京都大）

フルツロンと放射線の併用療法 小口 正彦（癌研附属病院）

シンポジウム3 癌化学療法と温熱療法 座長：上田 公介（名古屋前立腺センター）

RF誘電加温装置による直腸癌術前照射温熱化学療法 浅尾 高行（群馬大）

平成17年2月12日(土)

シンポジウム4 癌化学療法の新規癌治療薬の開発 座長：堀 均（徳島大）

新規癌治療薬の開発 西本 清一（京都大）

シンポジウム5 癌化学療法の治療効果予測 座長：近藤 隆（富山医薬大）

分子情報に基づく癌化学療法の治療効果予測 檜山 桂子（広島大原医研）

ゲノム解析からの増感予測 播磨 洋子（関西医大）

特別講演 座長：吉川 敏一（京都府医大）

Tumor dormancy therapy に基づく

Tailored dose化学療法 高橋 豊（金沢大）

ランチセミナー 座長：松本 英樹（福井大）

遺伝子発現阻害による癌治療戦略 樋口 裕高（フナコシ(株)）

総合討論：癌治療増感研究の将来展望 座長：吉川 敏一（京都府医大）



各セッションに一般演題の公募（12/20締切り）があります。多数の参加発表を歓迎いたします。詳細はホームページ（<http://www.iasct.jp>）を御参照ください。